

# 2017年度事業計画書

2017年4月1日から2018年3月31日

公益財団法人 日本太鼓財団

## 2017年度事業計画書

### I 事業内容

#### 1. 日本太鼓助成金交付事業の実施 [日本財団助成事業]

- (1) 目的 日本太鼓助成金交付規程に基づき、わが国における太鼓活動の普及、振興を図るため太鼓団体等の行う演奏会、講習会、国際交流等の事業に対して実施する。
- (2) 助成方法 当財団の機関誌、インターネット等により全国(海外を含む)の太鼓団体から希望を募り、運営委員会の審査を経て会長が決定する。
- (3) 助成金額 原則として1事業あたり20万円を限度とする。
- (4) 助成件数 35事業
- (5) 事業費 7,000,000円(前年同)

#### 2. 日本太鼓コンサートの実施 [日本財団助成事業]

- (1) 目的 広く日本太鼓の周知啓蒙を図るため、政・官・財界・在日海外高官及び各分野のオピニオンリーダーの人達を対象に、日本の伝統文化である日本太鼓のコンサートを実施する。併せて非営利団体共催のもと、チャリティ募金を行う。
- (2) 名称 第21回日本太鼓チャリティコンサート
- (3) 期 日 2017年5月16日(火)
- (4) 場 所 草月ホール(東京都港区)
- (5) 主 催 公益財団法人 日本太鼓財団
- (6) 共 催 NPO 法人シャイン・オン・キッズ
- (7) 後 援 日本財団、日本音楽財団
- (8) 出演団体 6団体程度(日本太鼓ジュニアコンクール優勝チームほか)
- (9) 視聴者 約350名
- (10) 事業費 6,000,000円(前年同)

#### 3. 日本太鼓全国フェスティバルの実施 [日本財団助成事業]

- (1) 目的 日本各地で活躍している優秀な太鼓団体が一堂に会し、広く太鼓演奏を披露し、日本太鼓の普及、振興を図るとともに技術の向上並びに団体間の交流を促進するため実施する。本年度は、創立20周年を記念して、初めての会場利用となる国立劇場において実施する。
- (2) 名称 創立20周年記念 第21回日本太鼓全国フェスティバル
- (3) 期 日 2017年9月21日(木)
- (4) 場 所 国立劇場大劇場(東京都千代田区)
- (5) 主 催 公益財団法人 日本太鼓財団
- (6) 主 管 関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
- (7) 後援予定 文化庁、東京都ほか
- (8) 協 賛 日本財団
- (9) 入場料 前売2,500円 当日3,000円(来賓席を除き自由席)
- (10) 出演団体 14団体程度(財団委員会において選出)
- (11) 視聴者 1,610名(収容人数)
- (12) 事業費 12,000,000円(前年度10,000,000円)

#### 4. 日本太鼓全国障害者大会の実施 [日本財団助成事業]

- (1) 目的 療育的見地から日本太鼓に積極的に取り組んでいる知的、身体に障害の有るチームによる太鼓演奏会を実施する。併せて、太鼓とその効用について体験発表等を行う。
- (2) 名称 第19回日本太鼓全国障害者大会
- (3) 期 日 2017年10月1日(日)
- (4) 場 所 御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
- (5) 主 催 公益財団法人 日本太鼓財団、社会福祉法人 富岳会
- (6) 主 管 日本太鼓財団静岡県支部
- (7) 後援予定 厚生労働省、文化庁、静岡県、静岡県教育委員会、御殿場市、御殿場市教育委員会ほか
- (8) 協 賛 日本財団
- (9) 出演団体 30団体程度
- (10) 視聴者 1,153名(収容人数)
- (11) 事業費 8,000,000円(前年度8,500,000円)

#### 5. 大学太鼓フェスティバルの実施 [日本財団助成事業]

- (1) 目的 18歳以下を対象とした日本太鼓ジュニアコンクールが盛んになる一方、高校卒業以降の太鼓活動を支援するため、大学生による日本太鼓のコンサートを実施する。
- (2) 名称 第2回大学太鼓フェスティバル
- (3) 期 日 2017年8月31日(木)
- (4) 場 所 文京シビックホール(東京都文京区)
- (5) 主 催 公益財団法人 日本太鼓財団
- (6) 共 催 大学太鼓フェスティバル実行委員会
- (7) 後 援 日本財団、日本音楽財団
- (8) 出演団体 10団体程度
- (9) 視聴者 約1,000名
- (10) 事業費 8,000,000円(前年度5,000,000円)

#### 6. 日本太鼓シニアコンクール [日本財団助成事業]

- (1) 目的 60歳以上のシニア層を対象に、健康増進と後継者への目標づくりを図るため、各都道府県から個人及び太鼓団体が一堂に会し実施する。優勝者に下付される文部科学大臣賞を目指して熱のこもった演奏が期待される。
- (2) 名称 第14回日本太鼓シニアコンクール
- (3) 期 日 2017年11月19日(日)
- (4) 場 所 津幡町文化会館「シグナス」(石川県津幡町)
- (5) 主 催 公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社
- (6) 主 管 日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
- (7) 後援予定 総務省、文化庁、石川県、石川県教育委員会、津幡町、津幡町教育委員会ほか
- (8) 協 賛 日本財団
- (9) 出演団体 30団体程度
- (10) 視聴者 1,000名(収容人数)
- (11) 事業費 3,000,000円(前年同)

#### 7. 日本太鼓ジュニアコンクールの実施 [日本財団助成事業]

- (1) 目的 次代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを図るため、各都道府県から選抜された18才以下の太鼓団体が一堂に会し実施する。前回同様に、内閣総理大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞を目指し、熱のこもった演奏が期待される。
- (2) 名称 第20回日本太鼓ジュニアコンクール
- (3) 期 日 2018年3月25日(日)
- (4) 場 所 金沢歌劇座(石川県金沢市)
- (5) 主 催 公益財団法人 日本太鼓財団
- (6) 主 管 日本太鼓財団石川県支部、公益社団法人石川県太鼓連盟
- (7) 特別協力 北國新聞社
- (8) 後援予定 総務省、文化庁、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、日本音楽財団ほか
- (9) 協 賛 日本財団
- (10) 入場料 前売券2,000円 当日券2,500円(来賓席を除き自由席)
- (11) 出演団体 55団体程度(各都道府県代表チーム)
- (12) 視聴者 1,919名(収容人数)
- (13) 事業費 20,000,000円(前年度19,000,000円)

#### 8. 創立20周年記念 日本太鼓フェスティバル [日本財団一般事業]

- (1) 目的 財団創立20周年を記念し、全国各地の特色ある日本太鼓チームによる太鼓フェスティバルを実施する。
- (2) 名称 創立20周年記念 日本太鼓フェスティバル
- (3) 期 日 2017年11月3日(金・祝)
- (4) 場 所 隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
- (5) 主 催 公益財団法人 日本太鼓財団
- (6) 共 催 浅草観光連盟ほか
- (7) 主 管 関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
- (8) 後 援 台東区、日本財団
- (9) 出演団体 20団体程度
- (10) 視聴者 約2,000名
- (11) 事業費 4,000,000円(新規事業)

#### 9. 一般事業の実施 第32回国民文化祭・なら2017「太鼓の祭典」

- (1) 目的 国民文化祭は、国民の文化活動への参加の気運を高め、新しい芸術文化の創造を促すことを目的として実施されている。1986年度から毎年、各都道府県持ち回りで開催されており、2014年度の秋田大会より当財団が主催に参画し、2017年度は奈良県大和郡山市において実施する。
- (2) 名称 第32回国民文化祭・なら2017「太鼓の祭典」
- (3) 期 日 2017年10月15日(日)
- (4) 場 所 やまと郡山城ホール(奈良県大和郡山市)
- (5) 主 催 文化庁、奈良県、奈良県教育委員会、大和郡山市、大和郡山市教育委員会、第32回国民文化祭奈良県実行委員会、第32回国民文化祭大和郡山市実行委員会、公益財団法人 日本太鼓財団
- (6) 主 管 日本太鼓財団奈良県支部、奈良県太鼓連盟
- (7) 出演団体 45団体程度
- (8) 視聴者 1,013名(収容人数)
- (9) 事業費 12,000,000円(前年同)

## 10. 日本太鼓技術普及事業の実施

- (1) 目的 日本太鼓の指導者の育成と技術の向上を図るために日本太鼓講習会を実施する。全国講習会は当財団主催により年3回、支部講習会は支部主催により随時実施する。また、日本太鼓の指導者の育成を図るための「公認指導員」(1級から3級)と、太鼓の演奏技術の向上を目的とした「技術認定員」(1級から5級)の資格検定並びに認定を規程に基づき行う。
- (2) 名称・期日・場所
- ・日本太鼓全国講習会(1回につき講師8名程度・受講者200名程度)  
第59回日本太鼓全国講習会 2017年6月 福島県郡山市  
第60回日本太鼓全国講習会 2017年9月 長野県箕輪町  
第61回日本太鼓全国講習会 2018年2月 宮崎県宮崎市
  - ・日本太鼓支部講習会(希望により各支部で実施予定)
  - ・日本太鼓資格認定事業  
日本太鼓全国講習会並びに支部講習会に併せて実施する。  
①全国講習会 資格認定制度における全ての資格検定  
②支部講習会 3級・4級・5級の技術認定員資格検定
- (3) 事業費 9,500,000円(昨年同)

## 11. 国際交流事業の実施 [太鼓ファンダ事業]

- (1) 目的 わが国を代表する伝統音楽の一つとして国際親善、文化交流の一翼を担うため日本太鼓団体を海外に派遣し、公演活動を実施する。併せて海外の太鼓団体との交流を通じ、実情の把握に務め海外の拠点づくりを進めていく。
- (2) 内容
- ①海外太鼓交流
- ブラジル太鼓協会、台湾太鼓協会の開催するジュニアコンクールの優勝チームを日本に招請し、日本太鼓ジュニアコンクールに出場させるなど国際交流を図る。これらに加え、アルゼンチン太鼓協会からの推薦されたジュニアチームを招聘する。
- 期間 2018年3月22日(木)～31日(土)
- 招請先 金沢歌劇座(石川県金沢市)ほか
- 招請団体 ブラジル&台湾ジュニア太鼓チーム(各国の優勝チーム)  
アルゼンチンのジュニア太鼓チーム
- ②指導者派遣 海外の太鼓組織より要請を受け、日本から指導者を派遣し、講習会並びに検定試験等を実施する。
- (3) 事業費 19,000,000円(前年度17,000,000円)

## 12. 普及事業の実施

- (1) 目的 日本太鼓に親しむ機会を提供するため、事務局に太鼓を常時保管し、希望に応じて貸与する等、日本太鼓の普及を図る。
- (2) 貸与方法
- ①貸与を希望する者は、所定の用紙にて申請する。
  - ②申請の締切りは、貸与希望日の1週間前までとする。
- (3) 貸与条件
- ①貸与を希望する者の資格は、特に制限しない。
  - ②貸与期間は、原則として1週間以内とする。
  - ③太鼓の運搬は、貸与者の責任において行う。
  - ④貸与者は、責任をもって太鼓を原形のまま返却する。
- (4) 貸与料金 太鼓の貸与に係る費用は、無料とする。
- (5) 事業費 500,000円(前年同)
- \*太鼓補充費及び修理費等に充当

### 1 3. 広報事業の実施

各種のマスメディアの活用や機関誌の発行並びにホームページ等により、日本太鼓に関する活動を紹介するなど、広範囲に広報活動を展開し周知啓蒙を図る。

#### (1) 機関誌の発行

名称	日本太鼓財団会報(A 4版、8頁)
回数	年4回(4月、7月、10月、1月)
部数	各号 1,100部

#### (2) 財団ブローショ어의リニューアル

名称	財団ブローショー(A 4版)
部数	1,000部(役員、委員、支部、加盟団体等)
仕様	A 4版・一部カラー
頁数	8ページ程度

#### (3) ホームページの充実

日本太鼓に関する活動を紹介するなど広範囲に広報活動を展開する。

<http://www.nippon-taiko.or.jp>

特にジュニアコンクールにおいてはライブ映像をインターネットにて世界にむけて放映する。

#### (4) マスコミとの連携

日本太鼓の健全な普及、発展を図るため当財団及び支部主催の日本太鼓演奏会等の事前告知を中心に、マスコミ各社を通じて各種広報活動を実施する。

#### (5) 広報活動の実施

日本太鼓を広く周知するために必要と思われる事業については、太鼓チームを派遣するなど積極的に協力する。

#### (6) 事業費 7,500,000円(前年同)

### 1 4. 協力事業の実施

国や地方公共団体並びに関係団体が実施する各種催事に協力するとともに、国際交流を目的とする機関が実施する文化交流等のための日本太鼓演奏依頼に対しても積極的に支援する。

### 1 5. 後援事業の実施

当財団の支部並びに関係団体が日本太鼓の普及、振興を図るために実施する事業に対して、積極的に後援する。

### 1 6. 調査研究事業の実施

日本太鼓に関する文献、資料などを収集するとともに、日本太鼓並びに伝統芸能の事業を視察・大学における実態調査などを行い今後のネットワーク創りを策定するなど、日本太鼓並びに伝統芸能の事業を視察する調査研究を行う。

## II 組織運営

### 1. 各種会議の開催

当財団の諸事業を円滑に実施するため、役員会及び委員会を次のとおり開催し、日本太鼓界の方向性や当財団の事業内容について審議を行う。

- (1) 評議員会 (年間2回)
- (2) 理事会 (年間2回)
- (3) 代議員会 (年間1回)
- (4) 運営委員会 (必要に応じ年間2回程度)
- (5) 技術委員会 (必要に応じ年間3回程度)

### 2. 支部の開設

現在、支部が開設されていない6県(滋賀、和歌山、鳥取、山口、愛媛、高知)に対し、支部開設に向けて積極的に努力する。